

会員の協力で全国に展開

去今月の「ルビウィ」の開催は第十回企画会において、運動執行部にて事業計画が決定した。そのうち「主期」を期票事業として、那「平常」を雑誌事業において具体的な内容を検討した。その結果別表のよう決定された。なおは既「事業体例」を整えて実施される。随に準備しているものもあり、国策派流弊においても派遣の決定は殆どが終つてゐる。特に各雑誌と密接な協力がある雑誌、企画編輯部におけるそれの担当者有責任、取り組んでいくもの編輯の協力得れば組織の光は勿論、本会事業の在り方が本部で企画出来るだけでなく、地方事業の協力力も充たされ方向へ進展するものと想われる。その意味では雑誌の事業企画も必要で諸雑誌に随分進捗して参加し有結果は将来の前進果したものである。なお各雑誌の詳細は事業企画部地にも進捗して通過をもつて協参加の期間とする。

参加者 本委員及び友好諸団体員
 経費 参加費五万円
 内容 国土交通の発展、青少年動向及び道徳意識の増進、展望にある
 五、第五回全国学生会議
 期日 七月十九・二十・三
 会場 大阪
 参加者 全国学生部長、若者約五十人
 約十人、組成地獄学生員
 経費 本部が助成
 内容 全国生役段になつて

次代の日本を担う青少年に夢と希望を与え、青年の健全な育進を図るためすべての関係者が協力して國民運動を興するところに「青少年育成國民議院」を組織し、五月二十日午後一時三十分、修を完了。

国民会
 青

六、第二回愛サ
マキャンペーン

期日 八月八・九・十・十日
会場 富士本邸アヤン館
参加者 本会員（〇〇名）
経費 参加費五〇円

内容 体の向上と心身の健全生活を楽しむこと等
少年財活動の實際

七、国際交流

1、別館政府青年海外派遣（別掲）

2、世界青少年流産協会日本代表訪問団 （別掲）

3、ベネチアシンクタンク海外青少年キャンプ調査派遣

4、カボソグ王國社会主義青年代表受入れ
捌年八月旬一日～週間

5、第四回世界青年議への男以上女性以上の賛であるがその他「フロン」にける詳説期待す。

習会を他組織より一箇時間とする企圖にて、本部に連絡するが、地方區で本役員の不足遇があつたときは、その都度隣縣の組織担当者より自負により方法變更の懇請を要するものとして行ていゝ願ふ。また、軽便役員等の別は、従来新人員及び役員等の別は、参加者となつたが、今年度は友愛運動のため、本誌の方針、金助の精神の進め方を諸語の形式によらず研究されたいとなり、會員の個人を対象として講話が通じて行方を行打出しとすることを希望その他各事について、本部主権事項については、各組織において、開催地あるところでは留断的な制をとり、自分達の支部活動大に利用して頂きたいと思つ、金の各組名の活躍を期待す。

分り、今幸、サウ・ケホ
ルに開かれた。

大倉は、佐藤内閣の大司
安井副府院秘書長はじめ、小
三浦清通郎、賀田賢二・若狭義
孝その他、一時間、青少年の代
代表、善学文人は全園が早
六人出席した。

開会演説の若狭茂吉氏、議
長岡田篤敏氏は、分りルソ
ウト日本諸君を、井沢氏ワ
ニ社社長、池田幹臣、日本人
ノ士族青年論者等々を多量出
演して祝意を表へて終つて我
がよいことだ。

(一) 少年の事業計画として

(二) 論文、課題、作文の募
集。(三) 青少年の奉仕活動や青
年奨励金類の実施。(四) 青少
年団体、グループの紹介。(五) 家
庭団らんの日、「家庭」の
普及(六) 勤勞青少年の教育
普及(七) 非特許者の環境の
浄化(八) 非特許者の早期復
元再防衛施設強化、など十数
項目にわたる運動方針を決定し
た。(別掲)

この午後退席行ない、会
長若狭氏、副会長毎日社
社長、日本新聞協会・上原隆
氏、岩波書店代表・倉持
氏、日本レリーキン・山
本健太郎氏、中央青少年
會堂・間尾次氏、中央青少年
同志連勝橋泰典委員長、横山祐
氏、常任委員中田清木金剛
最長をはじめ百五人を代表。
ついで佐藤首相にあひさ
う最後は大倉喜作は、万王
鳴、午後に退席明かた。

初め常任幹事会
五月十七日午後四時本部
おいて第三回同大会きこ
決定され新設により第一回
任幹事会開催された。

出席者地方事務をぞく四
散放防

核実験に抗
中共の三次の核実験に抗議
する中の水爆実験抗議。核実験
防衛同盟大会は五月二十七日
後四時十分から東京、虎の門
久保誠寺開かれた。

大倉は、松下幸之助委員長
推薦議員、国民代表中村廣
淵委員長、民権民衆党員會
代表土、労働者を代表して和国

拡散防止決議等も含め

が、来り、の熟婦人達について
上期事務について報告を請託し
て、別掲のり決定した。

な総一回であるので、屋形
" " " "

委員長
委員
奥田 吉郎
韓巻 克雄
柳沢 定勝
大西 肇治

川手正一郎



快晴に恵まれ百三十名

を樂しく
志まれ百三十名

きりり色色を細め、午國
時等に刊した

海外派遣

イ卜下農視察團員募集
書 一昨十月より在任
月迄のイ卜下寄受
れ知じ、この諸カア
下岸の個後のアフ
ノアー兼てイ
農科 業務調査をせつ
め

主 理 日印農業交換行
員会

定員 五十
五名

日程 昭和四十年十月旬
より十月下旬の一月旬
招寄 イ卜下農視察團員
募集 團長 一名(兼及
英会誌の認識を

「 川 戸 中
野 路 崎

す）
留作専門家

旅行は替五時東田寄へ小雨に降られ思ふやめぬれどとなへた。残念だつたのは参加のできなかった、金のいたことで、今後その費ひ旅足続けたら、願つたの如くします。早めに申ひんが欲しい。

団員募集

すい

和作専門家一名
 著書専門家一名
 陸軍専門家一名
 海軍専門家一名
 旅費の額個人負担(約十五圓) 消費はイン

下年恒

資格
 A 年齢は満十歳より満十三歳まで 昭和四十一(一)年一月一日現在
 B 健康状態が好で長途の団体旅行に耐え得るもの
 C 團員として應は問われないが、日本や青年代

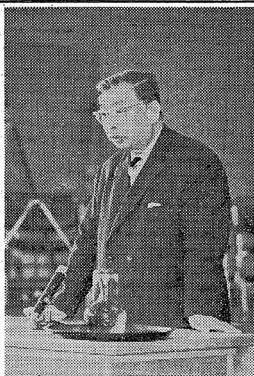
◆いよいよ夏期事業が展開される。本会にとつて夏の二ヵ月間は年間を通じて、全く大切な時期である。いづれでもなく、友愛運動の明日は、こういった事業の積み

[illegible]

萌える青葉の青年

友愛運動の特色を生かせ

顧問長谷川進一



「友愛青年同志会に期待する」といってテーマで顧問就任の辞をた。広いものであると知るようになった。

[illegible]

新常幹プロフィール

徳島県下の主軸



ル四階會議室で第二回徳島県支部連合会結成大会が盛大に開かれた。この大会で張西君は後進に道をゆずり相談役に就任した。

張西 五六君
(徳島県連相談役)
四月十七日徳島市・徳島ホー
に入会し、かつての仲間を中心
に運動を展開し、友愛思想に対
する深い理解と持ちこたへるねば



前進を双肩に活躍

十川 昭五君

吉岡県連会長、
「わ國員の情をあらめた。
故郷本防動大義を通じ友
愛を知り三千年大会、大
選出されの彼の職業の業
支部を結成し支部長なり、
又續にもいふ後の活動期待
た各市町の青年に働きか
つてであらう。常任幹事に
友部連会を組織して長とな
り期した。

カ伯の精神を学ぶ

初仕事にOJABを歓迎

私
が本会顧問となつて最初
の仕事は、本会と議定書
自身はその運営にあつてい

換によって姉団体となつたオーストリア青年運動会議の訪日代表と「友愛」の代表と会議の進行を手伝ふことであつたが、会の組織、会費、活動の状況に関する説明を聞いて、オーストリア側が目をまぐるして驚いて、

「さうして、顧問としてののびを考えたのであつた。」

「さうして、友愛動に何を期すか、この友愛を記すべき意義を達したものである。」

幸に私は鳩山会長のお招き

て五月の全米大会に出席
てで全国組織代表者諸君
にかり、精力をきわめた
る。中政の名義家はある
が、現在も人口十百万、東京都一
の人口にも及ばず小国である
ストライキ運動会議は、政
要はこの計画を実効をあげ

に、日本の地域においての各位が活動し、会員がささえ、会の活動の基盤がさたいていなることを期待するものである。

に於ける。和十四年三月に大川町議
員に当選、最年少議員とし
て活躍、社会教育問題をは
り問題、市面から取り出し

年二月に表題された第四次東南アジア使節団では相談して参加、同員の指導にある団員の信實があつて、三十三回全同会が常任幹事として、これは彼の過去の業績である。

門戸を開いてはいるが、このハウスを持っている運動が力強いことは申までも、その内能率の高、研修会とさまざまな国際交際発展とべきことはいろいろあるがに類する紙数は、

「でも、今後の活躍を期待し
あつて。常任幹事として友
動の指導に邁進されること
を望みたい。」

「最 後に私に愛着青年
に關係した機縁に
デソホフ・カレギー回
をゆつくり読ませてもらひ
たい感銘をつけたことを申

私にも 実感をもつて思い当る
ころがある。

私の家の庭にはマロニエの木がある。もつ植えて上

数年になるが、毎年四月になる
固い芽がほぐれて軟らかな葉が
赤ん坊のにぎりこぶしのようにな
んたん開いて、五月には大きな
葉になる。パリの方々で見たマ
ニエは十センチ以上もある木が多
その幹は二人でかかえるほど太
い。淡紅色の花は、その大木の



三菱銀行



三菱

梢から下枝まで、隈なく咲く。
の美事さは、日本での想像を絶する。



ある。青は希望の色である。
は私の母歌人井邦子におしえ
れて短歌の道にいましめ、今は
藤茂吉系統の「歩道」の同人で
るが、友愛青年同志会に對する
待と解してもいいような近作の
つを記して筆をおくこととする。

枝に萌えたる大きき若葉
日々に展がりて
春更けむとす



友愛の評価と展望

[illegible][illegible][illegible]

三年の語をみてきまず、
終るべきにいたします。

【講師は日本天竺助教授・本会
のバターンとして出来かっ
るまづ思われます。そのバ
任参り】

【文責は記者】

力発電所か
お台所まで

士電機

造株式会社

力用設備
電用設備
工業用設備
用電器



東京都千代田区九の内1の
(211)7111 (大代)

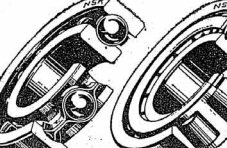
原子
—
宮田
製造
■原子
■発変
■一般
■家庭
本社・東
電話。

高い精度・長い寿命

NSK

ボール・ローラ

ベアリング



日本精工株式会社

[illegible][illegible]

